

問1 冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 和歌山公立

入試 類似）

1. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。
2. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。
3. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。
4. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。

問2 東京圏の人口動態を分析すると、東京都の昼夜間人口比率は119.2に達している一方、埼玉県や千葉県などの周辺の県では100を下回る数値となっています。このような統計上の特徴から読み取れる、東京圏における都市の機能分担と生活スタイルの説明として正しいものはどれですか。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 東京都に事業所や大学などの都市機能が集中し、周辺の県が主に居住地の役割を担っている。
2. 周辺の県に大規模な工業地帯が建設され、東京都から工場労働者が大量に流出している。
3. 東京都内で昼間に農作業を行う人が増えたため、一時的に人口が急増している。
4. 周辺の県から東京都へ移住する人が急増した結果、周辺の県の夜間人口がゼロに近づいている。

問3 千葉県は、巨大な消費地である東京に近いという立地条件を活かし、野菜や花きを生産して高い産出額を上げ、鮮度が重視される作物を迅速に出荷しています。このような、都市の周辺で行われる農業の形態を何と呼びますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 近郊農業
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 粗放的農業

問4 東京都の工業統計において、印刷業や情報通信機械などの出荷額が占める割合が、他の工業地域と比較して高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 出版社や放送局が数多く立地し、情報の加工やメディアに関連する需要が非常に大きいため
2. 東京湾沿岸の広大な埋立地を利用して、大規模な製鉄所や石油コンビナートが整備されているため
3. 内陸部の豊かな水資源を活用して、古くから綿織物や絹織物などの繊維工業が発展してきたため
4. 原材料の輸入や製品の輸出に便利な大型港湾があるため、鉄鋼や化学などの基礎素材産業が中心となっているため

問5 日本には海に面していない「内陸県」が8つ存在します。そのうち、関東地方に位置し、日光市などの著名な観光都市や豊かな山岳地帯を擁する県を次の中から選びなさい。（2020年 三重公立入試 類似）

1. 栃木県
2. 山梨県
3. 長野県
4. 滋賀県

問6 1985年に発行された八王子市の地形図では山地や森林が広がっていた地域が、2015年の地形図では大規模な区画整理が行われ、新たな住宅地へと変化しています。この地域の開発に伴い、新しく地図上に描き加えられた鉄道駅の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 八王子みなみ野駅
2. 高尾駅
3. 北八王子駅
4. 片倉駅

問7 関東地方に位置する群馬県の農業において、統計上の農業産出額で野菜や畜産の占める割合がコメに比べて非常に高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため
2. 広大な平野部を利用した大規模な機械化によって、輸出を目的とした小麦やコメの生産に特化した農作業が行われているため
3. 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、他の関東地方の県に比べてコメのブランド化による収益が野菜を上回っているため
4. 土地が痩せていて稲作が全く不可能なため、県内の全ての農地を牧草地やビニールハウスに転換し、畜産と野菜のみを生産しているため

問8 千葉県浦安市付近の地形図を用いた地域調査において、河川沿いに位置する「建物が密集し、細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る地区」を調査対象としました。このような地区の景観や土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区
2. 近年、大規模な再開発によって計画的に整備された新市街地
3. 高度経済成長期以降に海を埋め立てて造成された工業地帯
4. 等高線が密に描かれる、傾斜地の森林を切り開いた住宅地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。	冬の北西の季節風は、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えますが、本州中央部の高い山脈を越えるときに強制的に上昇させられ、冷却されることで日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えて関東平野に吹き下ろすときには水分をほとんど含んでいない状態になるため、晴天が多く乾燥した気候をもたらします。この仕組みは地理の因果関係を理解する上で非常に重要です。
問2	答え 1 東京都に事業所や大学などの都市機能が集中し、周辺の県が主に居住地の役割を担っている。	東京都の昼夜間人口比率が100を大きく超えている（119.2）事実は、夜間人口（住民）よりも昼間に都内に滞在する人の方が多いことを示しています。これは東京都がビジネスや教育の中心地として機能しており、周辺の県がいわゆる「ベッドタウン」として、人々の生活（居住）の拠点となっているという地域的な役割分担が背景にあります。
問3	答え 1 近郊農業	千葉県のように大都市の周辺に位置する地域では、消費地までの距離が近いことを活かして、収穫から短時間で届ける必要がある野菜や花きを栽培する「近郊農業」が発達しています。輸送費が抑えられるほか、消費者のニーズを素早く生産に反映できるという利点があります。
問4	答え 1 出版社や放送局が数多く立地し、情報の加工やメディアに関連する需要が非常に大きいため	東京都の工業は、鉄鋼や石油・石炭製品といった重化学工業を中心とする地域とは異なり、出版物や広告などの印刷業、パソコンや通信機器などの情報通信機械といった、情報の流通や消費に関連する分野の割合が高いことが大きな特徴です。これは、政治や経済の中心地として、情報の発信源となる施設が集中しているという都市機能と密接に関係しています。
問5	答え 1 栃木県	関東地方にある内陸県は、栃木県、群馬県、埼玉県の3県です。山梨県、長野県、滋賀県も内陸県ですが、中部地方や近畿地方に属します。栃木県は日光市を中心に観光業が盛んであり、首都圏からのアクセスも良いため、多くの観光客が訪れます。
問6	答え 1 八王子みなみ野駅	1980年代半ばまで森林や山地が卓越していた八王子市南部では、大規模な宅地開発が進められました。これに伴い、1997年にJR横浜線の新駅として「八王子みなみ野駅」が開業し、2015年の地形図では駅を中心に整然とした街並みが描かれています。地形図を比較することで、短期間での土地利用の変化や交通網の整備を読み取ることができます。
問7	答え 1 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため	群馬県は、東京などの大都市圏に近いという地理的条件（市場近接性）を最大限に活用しています。キャベツなどの高原野菜や、豚・乳牛などの畜産業は、輸送距離が短いほど鮮度が保たれ、コストも抑えられるため、コメよりも収益性の高い野菜や畜産に力を入れる農業構造が定着しました。
問8	答え 1 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区	地形図上で建物が密集し、路地が複雑に入り組んでいる様子は、都市計画が進む以前からの古い町並みが維持されていることを示唆しています。浦安市においては、旧町役場周辺などに漁師町としての伝統を残す商店街や古い建物が見られ、これらは直線的な道路が並ぶ埋立地（新市街地）の景観とは明確に区別されます。地形図の読図を通じて、その土地の歴史的な成り立ちを推察することが可能です。